

■ 連合福島新型コロナウイルス調査結果（中間報告）を発表



【冒頭あいさつする今野会長（右）と八巻事務局長（左）】

連合福島は、4月10日（金）に新型コロナウイルス感染症等がおよぼす影響調査の中間報告を発表し記者会見を行った。今野会長は、「新型コロナウイルス感染症が拡大する中、福島県においても33名が感染し、政府の緊急事態宣言等が出て益々緊迫感も増している。調査は、その以前の調査だったこともあり、今後感染拡大に比例し影響もますます深刻化することは容易に想像がつく。

開設した連合福島ホームページのコロナ相談には、アクセス数も増加しており、全国からの電話相談もある。多くの働く者、生活者が休業や明日の生活など、切実な声が届いている。この結果を行政や政治にもしっかりと示し、早急な対策、改

善をもとめていく。

また、東日本大震災以降、私たちは差別や偏見に悩み、苦勞し、未だ風評のたたかいを強いられている。今回の新型コロナウイルス感染症で、同様なことがあってはならない。大震災を乗り越えてきた経験をしっかりと活かし、連合福島はこれまで以上に働く者の権利と生活を守る。」と挨拶した。

その後、八巻局長の内容説明後には質疑を受けたが、2組合から雇止めの報告があったことも含め、引き続き調査を継続するとし、記者会見を終了した。

感染拡大に伴い緊急事態宣言が出されたことで新たな局面を迎え、一層緊張感が高まっている。何より、皆さんの自覚と行動が打開策、有効手段であることを改めて認識いただきたい。3密を避け、体調がすぐれない時は、必ず休む。その勇気と行動が、家族と仲間を守ることに。そして、連合福島はその環境づくりを進め、皆さんの行動を誰よりも賞賛します。

■ 連合福島会長メッセージ

新型コロナウイルス感染症が福島県内で拡大している状況を受け、連合福島会長からのメッセージを発信しました。

発熱やセキなどの症状があれば、気兼ねなく休むことも感染を拡大させないための方法となります。困難克服にむけてともにがんばりましょう！

※本文は裏面に掲載。

※連合福島「新型コロナウイルス対策本部」ニュースは連合福島ホームページに掲載しています。

新型コロナウイルス感染症特設ページ

URL . . . <https://www.rengo-fukushima.jp/category/corona>

「新型コロナウイルス感染症に関して 組合員のみなさまへのメッセージ」

急激なコロナ感染症拡大は、経済や社会に甚大な混乱と影響をおよぼし、同時に不安や不満は日ごとに高まっています。

政府は、4月7日に緊急事態宣言を発し、合わせて緊急経済対策を閣議決定しました。政府・自治体には、医療提供体制の確保に全力を挙げるとともに、緊急事態と感染症の早期終息に向けた取り組みを求めます。

そして、政府対応が後手に回ったことは否めないものの、国民の生命と健康、安全を最優先に早期の終息の措置として連合福島も重く受け止める同時に、新たな局面を迎えたと理解しなければなりません。

この間、連合福島は対策本部を設置し、構成組織・単組・組合員の状況把握を取り組み、皆さんの率直なご意見や不安、不満を要請書に取りまとめ、福島労働局、福島県、経営者団体等へ提出しました。合わせて、調査内容は報道機関を通じ広く周知し、同時にそれらの改善・解消の対策を図る契機にしたいと考えます。

既に、県内でも感染確認は33例目を数え、感染拡大が急速に進んでおり、さらなる拡大が危惧されています。県内初のクラスター（感染者集団）発生を踏まえれば、企業や政府・自治体は既成概念にとらわれず、これを促進するために、働く者への早急な支援・環境整備と実践が必要です。

何より、私たち一人ひとり自覚と行動が重要性を増しています。他者と一定の距離を確保するソーシャルディスタンスを意識し、密閉・密集・密接のいわゆる「3密」を避けるなど、外出自粛を軸とした一人ひとりの行動変容が欠かせません。また、皆さんには「発熱やせきなどの症状があれば出勤を控えていただく」こと、連合福島も「気兼ねなく休暇が取得できる」職場環境づくりに向けて、関係機関とも連携し取り組みを強めます。

さらに、東日本大震災の差別や今でも続く風評を踏まえれば、新型コロナウイルス陽性の方やその関係者に同様の辛い思いを抱かせないことも重要です。

今、まさに連合福島、構成組織、単組、組合員の連携強化、まさに「団結」が試されています。困難克服にむけて、ともに頑張りましょう。

2020年4月10日

連合福島会長 今野 泰

◎お問い合わせ先

連合福島 組織広報局：遠藤・渡邊 政治政策局 竹岡

電話：024-522-0500 メール：rengo-fukushima@bz01.plala.or.jp